



臨床糖尿病支援ネットワーク MANO a MANO



“mano a mano”とはスペイン語で“手から手へ”という意味です

平時は8割の力で

【当法人評議員】

たもり内科クリニック

多森 芳樹 [医師]

皆様こんにちは、お元気にされてますか？この原稿を書いているのは、東京オリンピック間近の頃です。新型コロナウイルスの感染が広がっています。皆様のお仕事にも多少影響が出ていることと思います。発熱した方の診察・治療・検査、その家族のケア、コロナウイルスワクチンの注射など、コロナ関係の業務が増えていると思います。コロナ感染患者さんの診療に直接あたられておられる方々には敬服いたします。

蟻の世界:2-6-2の法則

蟻の世界では、よく働いている蟻と、普通に働いている蟻と、働いていない蟻の割合は2:6:2になる。このうちよく働く蟻を集めても、よく働く蟻と、普通に働く蟻と、働かない蟻に分かれ、その割合は2:6:2となるし、働かない蟻を集めても、よく働く蟻と、普通に働く蟻と、働かない蟻の割合は2:6:2となる(私は、これを確かめたことはないのですが。)とされています。働かないように見える2割の蟻はさぼっているのでしょうか？聞いた話では、働かないように見える2割の蟻は、有事に備え待機している蟻ということです。みんながみんな、せっせと働いていると、何か事が起きた時に誰も対応できません。

今、医療は逼迫した状態と言われています。医療の世界で、有事に備えた待機要員がどれほどの数いるのでしょうか？いや、いたでしょうか？社会保障費の適正化の号令の下、医療費は抑制され、有事に備えた待機まで手が回っていなかったのではないのでしょうか？有事に備えた医療体制が、働き方改革とあいまって是正されていくことを願います。

話は少しそれますが、“8割の力”というと、思い出すことがあります。春風亭小朝師匠がまだ入門したてのころ、林家彦六師匠(当時は林家正蔵だったかもしれませんが)が、“8割の出来で客を満足させなきやダメだよ、いつも100%の力でやっていたら、そのうち客は100%以上でないと満足しなくなるよ”と言われていたのを思い出します。当時、私はいつも全力投球みたいな生き方をしていたので、彦六師匠の言葉は理解できず、ずっと気になっていたのですが、今になって考えると、2割の余裕を持つことは大事かもしれません。

読んで
単位を
獲得しよう

西東京糖尿病療養指導士(LCDE)は、更新のために5年間において50単位を取得する必要があります。本法人会員は、会報「MANO a MANO」の本問題及び解答を読解された事を自己研修と見做し、**1年につき2単位**(5年間で10単位)を獲得できます。毎月、自分の知識を見直し、日々の療養指導にお役立てください。

(「問題」は、過去のLCDE認定試験に出題されたものより選出、一部変更しております。)

問題 糖尿病神経障害について誤っているのはどれか、2つ選べ。

(答えは3ページにあります)

1. 無自覚性低血糖患者の血糖値は、通常目標値よりはやや高めに保つ
2. 感覚・運動神経障害のある患者はあんかなどの保温器具の使用を勧める
3. 単神経障害による眼瞼下垂・複視・顔面神経麻痺の予後は不良であることが多い
4. 自律神経障害があると、心電図R-R間隔変動係数(CV_{R-R})の変動の程度が小さくなる
5. 起立性低血圧症は過度の塩分制限で頻度が増える

報告

西東京CDEの会 第19回例会

日時: 令和3年6月12日(土)
オンライン

[当法人会員] 杏林大学医学部付属病院 今野 里美 [看護師]

6月12日(土)に『西東京CDEの会 第19回例会』がオンライン(Zoom)にて開催されました。今回は「新しい糖尿病診療ガイドラインと糖尿病治療ガイド2020-2021を解説します! ~療養指導はどう変わる?~」というテーマのもと、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師など86名の参加がありました。

第1部基調講演は、東京医科大学、高村内科クリニック医師 植木 彬夫先生より「最新の糖尿病治療ガイド2020-2021の解説」と題し、ご講演いただきました。糖尿病患者が健康な人と変わらない幸せな人生を送ることができるよう、HbA1cだけでなくフレイルやサルコペニア、寝たきり、認知症、癌などの視点で治療管理すること、薬の作用機序の理解と副作用も考慮し患者個々の状態に応じて治療薬を選択すること、スティグマに対する医療従事者の姿勢など、最新治療の解説とともに地域で活動するCDEに向けて患者を支える療養支援への期待を述べられました。第2部講演は、駒沢女子大学(緑風荘病院)管理栄養士 西村 一弘先生より「日本人の食事摂取基準・食品成分表が変わると療養指導はどうなるか」と題し、年齢とBMIの目標、患者個々の食事摂取状況をみて評価しPDCAサイクルを回していくこと、各栄養素の摂取基準などを具体的にご講義いただきました。第3部は「ガイドラインを活かした療養指導のコツ」と題し、1.薬剤師 宮前 玲子先生から、病態と薬の一覧表の活用、肝・腎機能・年齢を考慮した治療薬選択、2.看護師 下田 ゆかり先生から、患者の希望と個別性に配慮した療養指導、3.臨床検査技師 鈴木 光一先生から、血糖測定器・CGM・FGMの特性の理解と活用、4.理学療法士 水谷 健先生から、運動療法の継続のコツは「患者さんに気づきを与える」こと、など各職種からご発表いただきました。コロナ禍のZoom開催でしたが多くの方が参加してくださり、糖尿病治療の情報をアップデートできた有意義な例会となりました。



報告

第6回薬剤師による既往歴妊娠糖尿病を考える会

日時: 令和3年6月14日(月)
オンライン

[当法人会員] 東京薬科大学 影山 美穂 [薬剤師]

令和3年6月14日に第6回薬剤師による既往歴妊娠糖尿病を考える会をZoomによるオンラインにて開催しました。当日は27名の方にご参加いただきました。昨年12月開催の第5回に引き続きオンラインでの開催でしたが、受講上の注意点やビデオをONにしてご参加いただくことなどは浸透しており、非常にスムーズな会の運営となりました。

杏林大学付属病院薬剤部の小林 庸子先生から「妊娠糖尿病と薬剤師の関わり」と題しまして、ご講演いただきました。妊婦への薬剤を投与する際の考え方や妊娠中の薬の使用を患者さんに伝える際のリスクコミュニケーションに関して、非常に分かりやすく具体的にご講義いただきました。更に、妊娠糖尿病に対する院内での連携(産科と糖尿病内科)、合同カンファレンスや妊娠糖尿病導入シートをご紹介いただきました。ご提示いただいた妊娠糖尿病3例の実症例では、妊娠糖尿病のインスリンでの治療症例や糖尿病合併症症例(30年前に妊娠糖尿病既往あり)を通じ、妊娠糖尿病患者のその後の糖尿病予防視点でのフォローアップが何もない現状への問題提起をいただきました。妊娠糖尿病は、妊娠に伴う胎盤ホルモンの影響によるインスリン抵抗性増大を起因とした糖代謝異常ですが、出産により正常化します。しかしながら、妊娠糖尿病を既往に持つ方が将来、糖尿病を発症するリスクが7.43倍ということ、合わせて考えますと、改めてフォローアップの重要性を再認識いたしました。過去に当会で作成した既往歴妊娠糖尿病啓発ポスターは、臨床糖尿病支援ネットワークのホームページからダウンロード可能です(<https://www.cad-net.jp/index.php/news/detail/54>)。啓発活動にご活用いただければ幸いです。

後半は、総合討論としまして、参加者の皆様からのご質問へ小林先生にご回答いただきました。Zoomのチャット機能を活用し、上述したポスターの活用方法への参加者の皆様からのご意見や、実臨床に即した疑問やコロナ禍に即した質問があり、非常に有意義な総合討論となりました。





第64回日本糖尿病学会年次学術集会

令和3年5月20日(木)～22日(土)

Web開催

〔当法人会員〕

緑風荘病院

鈴木 順子〔管理栄養士〕

第64回日本糖尿病学会は、昨年に引き続きオンラインLive配信にて2021年5月20日(木)から5月22日(土)までの3日間、またオンデマンド配信での開催となりました。教育講演やシンポジウムを視聴しましたが、特に興味をもったものはディベート3『サルコペニアかつ腎症を合併した糖尿病:サルコペニアの治療を優先vs腎症の治療を優先』についてご報告させていただきます。

このディベートでは症例を交えながら前半は糖尿病を専門とする医師から後半は腎臓病を専門とする医師から、それぞれサルコペニア及び腎症の治療を優先するかと題してご講演くださいました。私自身はサルコペニアを優先したいという考えで視聴していました。サルコペニア及び腎症を優先して治療することの様々なメリットやデメリットがある中、やはりサルコペニアがあることで、腎機能や心血管イベントへの影響、のちに生命予後との関連性が出てきます。最終的には、サルコペニアを優先しながら食事療法としてエネルギーやたんぱく質を十分に補い、腎イベントを低下させるSGLT-2阻害薬やGLP-1受動態作動薬、場合によってはARBを使用することがベターな治療とまとめられていました。

高齢者は1つの疾病を持っていることは少なく、今回のように腎症があるサルコペニア患者など様々な併存疾患があります。1つの病態の知識だけでなく、複数に合わさったことによっておこる合併症や身体の機能なども学ぶことの重要性を痛感しました。何はともあれ、食事療法は治療の基本になるので、個々の患者に合った指導をしていきたいと思えます。

ここ近年、オンラインでの学会やセミナーが増えており、参加しやすくなったり聞き逃したところを何度も聞くことができ、有意義だったと思う反面、特にディベートなどは会場の熱気なども感じながら聞くともまた違った捉え方をしていたかもしれません。安心して以前のような学会参加ができることを願っています。

第64回日本糖尿病学会年次学術集会は5月20日から22日までWebのLIVE配信とオンデマンドの組み合わせという形で開催されました。新型コロナウイルス感染症がもたらした新世代の学会の開催形式なのかもしれません。今回の学会は本来であれば富山県で開催されていたはずで、現地の雰囲気を感じられないのは悲しいですが、とても参加しやすく聞きたい演題が重複していても聞くことができ、とても良い形態だと思いました。本学術集会は「日々の診療での気付きから新しい糖尿病学を切り拓く」と銘打たれており、インスリン発見から100年目という節目でもあり関連する記念講演が多数ありました。

さて、本題の研修レポート「ホットトピックス」とは違うかも知れませんが、急性期中規模、地域中核拠点病院に勤める臨床検査技師として多様化する糖尿病患者さんへどのような療養指導ができるのか再度考えさせられました。また、「病院全体の糖尿病力を上げる」を聴講し、現在の診療報酬制度上、当院のような急性期病院の内分代謝内科自体が病院経営上からはとても理不尽な状況に置かれていることにショックを感じました。総合病院で500床であれば糖尿病が強く疑われる可能性のある人の割合を考えれば50人以上は入院している計算となり、主病名ではなくとも潜在的な患者さんが多数いることが推定されます。特に日本では「がん」も重要な疾患であり、多数の患者さんが入院しているわけで、病院全体で「がん」と「糖尿病」を意識する必要がある時代であると思われまます。臨床検査技師としては糖尿病合併症の精査の際に「がん」を、がん治療の際に「糖尿病」を発見できるように検査データを確認し、臨床医により早く報告できるように努力しなければいけないと思えます。

〔当法人評議員〕

公立昭和病院

櫻井 勉〔臨床検査技師〕

読んで
単位を
獲得しよう

答え 2, 3 下記の解説をよく読みましょう。

(問題は1ページにあります。)

解説

- 1: 正しい。 低血糖を回避して交感神経応答の回復を図ります。
- 2: 誤り。 火傷を防ぐため、あんかなどの保温器具の使用は避けまます。
- 3: 誤り。 予後は良好で、ほとんどが数か月で自然治癒します。
- 4: 正しい。 安静時でCVR-R 2.0%未満であれば心自律神経障害が疑われます。
- 5: 正しい。 ただし、過度な塩分摂取による高血圧や心不全には注意が必要です。



研究会等のセミナー・イベント情報

 主催事業
 共催・後援事業
 その他

 第22回 西東京糖尿病療養指導士養成講座

 申込必要

期 間：2021年9月10日（金）第1講開講 以降12月14日（火）まで計14回実施

時 間：19：00～20：30（開場18：40）

参加方法：Zoomにて開催いたします

受講料：当法人会員 12,000円 / 一般 20,000円（全14回講義分として）

申 込：当法人ホームページ <https://www.cad-net.jp/> よりお申し込みください（10/11締切）

※詳細は、「新着情報」の「第22回西東京糖尿病療養指導士養成講座のご案内」をご確認ください

 オンライン

【聴講制度のご案内】 聴講制度によりLCDE認定者も受講可能です。養成講座を受講されると**40単位を上限とし、1講義出席につき4単位取得**できます。8/30（月）より受付を開始しております。マイページ内の聴講制度に関する掲示より、Web決済にて受講料をお支払いください。※受講料は、全14講義分一括納入のみとなります。

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：1講義につき4単位

 一般社団法人 臨床糖尿病支援ネットワーク 第70回例会

 申込必要

テーマ：『糖尿病在宅支援の新しいかたち～糖尿病在宅患者の療養・介護支援ガイドの活用法』

開催日：2021年9月13日（月）19：20～21：00

参加方法：Zoomにて開催いたします

申 込：当法人ホームページの「セミナー・イベント情報」よりお申し込みください（9/13締切）

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：4単位

☆日糖協療養指導医取得のための講習会

 参加費無料

 オンライン

 メディカルスタッフWebセミナー in Tokyo ～糖尿病のスティグマを解消する療養指導～

 申込必要

開催日：2021年10月7日（木）19：00～20：40

参加方法：Zoomにて開催いたします

申 込：プログラムに記載のURLよりお申し込みください（10/1締切）

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：2単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<看護1群>：0.5単位申請中

 参加費無料

 オンライン

 第38回武蔵野糖尿病研究会Webセミナー

 申込必要

開催日：2021年10月9日（土）14：50～16：30

参加方法：Microsoft Teamsにて開催いたします

申 込：プログラムに記載のURLよりお申し込みください（10/7締切）

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：3単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>：0.5単位申請中

 参加費無料

 オンライン

 西東京CSII普及啓発プロジェクト 第21回研修会

 申込必要

テーマ：『本邦発パッチポンプのゆくえ～デバイスの現状とバージョンアップしたCGMデバイス』

開催日：2021年10月19日（火）19：20～21：00

参加方法：Zoomにて開催いたします

参加費：当法人会員 1,000円 / 一般 1,500円

申 込：当法人ホームページの「セミナー・イベント情報」よりお申し込みください（10/19締切）

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：4単位

 オンライン

発行元

一般社団法人 臨床糖尿病支援ネットワーク事務局
〒185-0012
国分寺市本町2-23-5 ラフィネ込山No.3-802
TEL:042(322)7468 FAX:042(322)7478
<https://www.cad-net.jp/>
Email:w_tokyo_dm_net@crest.ocn.ne.jp

編集後記



なんだかんだ言いながら、サッカー・開会式から始まり、涙あり感動あり、開会式までテレビの前で釘付けになった2020東京オリンピックでした。やはり行事は「開催」することが大切なかもしれません。私たちの行事である学会や研修会もオンラインではありますが、開催を継続してきたいと思えます。しかしながらリアルに勝るものはありませんので、その日が来ることを楽しみに待ちたいです。（広報委員 小林 庸子）